

若狭における福井県の「でたらめ行政」を検証する（その44）

こ う ち が わ

河内川ダム建設の無駄と無謀 その②⑥

河内川ダム建設工事に係る

関西電力熊川発電所へのダム補償金に疑惑 11

（小浜市） 松本 浩

関西電力の第三者委員会の調査発表を受けて、関西電力が公表した「役員報酬カット分の補填(ほてん)約 2億6000万円」の原資も、福井県が施工した河内川ダム建設工事の不正支出金である。

- 1) 発電設備の取水設備工について。(第 236 号) -----
- 2) 発電設備の付替水路工について。－その① (前 237 号) -----
- 2) 発電設備の付替水路工について。－その② (今 238 号) -----

令和 2 年 7 月 28 日の日本共産党福井県地方議員団の福井県交渉において、河内川ダム建設地元若狭町の北原武道町議が質した 2 番目の質問は、

〈県営河内川ダム建設工事で行われている関西電力熊川発電所水路移設工事(補償工事)が行われているが、

(2) 平成30年度予算計上された(平成31年2月25日、国土交通大臣承認)「付替水路工1式 90,000千円」について、工事台帳を開示した上で、その工事内容の説明を求める。〉とい

うものであった。

北原町議の求めに応じて福井県河川課長は、下記 2 件の工事台帳を開示した。

- ・付替水路工 30 - 1
請負金 37,605,600 円 (株)西野土木
工期:平成30年5月10日～31年5月7日
前払金:13,000,000 円
- ・付替水路工 30 - 3
請負金 48,481,200 円 (株)西野土木
工期:平成30年7月24日～31年3月22日
前払金:16,000,000 円

(2) に対する福井県の説明について

北原町議への福井県の説明は次の理由で偽りである(本件は重大な事件と思われるので煩瑣(はんさ)ながら、少し詳しく報告させて頂くことをお許し願いたい)。

- ①国土交通省が、補助金交付を新たに変更承認したのは平成 31 年 2 月であるのに、その 90,000 千円を使った工事がその前年 5 月(付替水路工 30 - 1)、同 7 月(付替水路工 30 - 3)に請負契約したなどはおよそあり得ない。
- ②平成 31 年 2 月 12 日、福井県(西川一誠知

事)は国土交通省に「平成 30 年度水管理・国土保全局所管補助事業補助金交付決定額の経費の配分及び内容の変更申請書」を提出、国土交通大臣は同年 2 月 25 日これを承認した。

本件変更の主要な目的は、平成 30 年度当初の補償工事費 57,000 千円(付替町道)に、関電熊川発電所に係る架空の補償工事「付替水路工 90,000 千円」を追加して補償工事費を 147,000 千円に増額することであった。

しかし、福井県(西川一誠知事)は、一旦

は国の承認を受け支出した補償工事費 147,000 千円から付替水路工 90,000 千円支出の事実を隠蔽(いんぺい)する必要に迫られた。

平成 31 年 3 月 10 日、「関電良くし隊」による衝撃的な内部告発があり、同告発状が関電幹部と高浜町の森山元助役の癒着関係のみならず、関電幹部や森山元助役と政治家との癒着をも指摘したことから、福井県は西川知事と関電幹部、森山元助役との癒着の実体を具体的に示した本件「付替水路工 90,000 千円」不正支出の暴露を恐れたのである。

平成 31 年 4 月 1 日、福井県知事西川一誠は国土交通大臣宛に「平成 31 年度水管理・国土保全局所管補助事業補助金交付申請書」を提出し、同年 4 月 26 日、国土交通大臣は同交付を決定したが、その際添付された「ダム事業費総括表」の「平成 30 年度金額」欄から、変更追加された「付替水路工 90,000 千円」が消去され、30 年度実績は当初計上の「付替町道 57,000 千円」のみとなった。

平成 30 年度の補償工事から 90,000 千円を消去すれば、平成 31 年度に繰り越される補償工事費は 90,000 千円増える理屈である。

そこで、福井県(西川一誠知事)は平成 31 年 4 月 1 日、「令和元年度水管理・国土保全局所管補助事業補助金交付決定額の変更申請書」で詐欺師のような手法を使って平成 31 年度の補償工事費の残額を 234,000 千円に増額した。

上記平成 31 年度当初予算で福井県は、補償工事費に次のような手を加えた。

- 先ず、ダム事業費の「補償工事費」総額 9,991,000 千円に 81,514 千円を加えて 10,072,514 千円に増額する。
- 次に、平成 30 年度補償工事費実績から付替水路工 90,000 千円を消去して 30 年度実績を付替町道 57,000 千円だけとする。
- 平成 29 年度までの補償工事費累積額 9,781,514 千円に 57,000 千円を加え、平成 30 年度までの補償工事費累計額を 9,838,514 千円とする。

- すると、補償工事の総事業費 10,072,514 千円から平成 30 年度までの補償工事費累計額 9,838,514 千円を差引いた 234,000 千円が平成 31 年度の補償工事費予算となる。
- これら一連の詐術を経て、本来は 144,000 千円となるべき 31 年度の補償工事費が 234,000 千円に変身させられている。

そして、平成 31 年度の同予算 234,000 千円のうち 64,000 千円を新たな架空工事である付替水路工に充当するが、170,000 千円は使途のないまま翌年度へ残される。

- 補償工事費残額 170,000 千円を受けた令和元年 7 月 25 日、福井県(杉本達治知事)は国土交通大臣宛に「令和元年度水管理・国土保全局所管補助事業補助金交付決定額の変更申請書」を提出し、同年 8 月 26 日国土交通大臣はこれを承認した。変更の主要内容は、補償工事費残 170,000 千円を「付替町道工事」施工(新たに作出した町道工事 14 件 189,226 千円)の財源に使用するというものであった。

以上の経過によって、関西電力熊川発電所の付替水路工 90,000 千円は「河内川ダム事業費総括表」からは消去され、あたかも同 90,000 千円の支出はなかったかのような措置がとられた。

しかし、福井県の上記措置は新たな矛盾を生み出しており、成功してはいない。

令和 2 年 10 月 21 日、筆者と北原町議は福井県庁河川課を訪ねてダム建設管理・足羽川ダム対策グループの下中主任ら 3 名と対話した。

その際、北原町議が「国土交通省への補助金交付申請書添付の事業費総括表は予算書だと思うが、実際の決算がどうなっているかはどこで分かるのか」と聞いた。

下中主任は「それは、各年度のダム補助事業の完了実績報告書だ」と答えた。

令和 2 年 11 月 6 日に開示された福井県知事杉本達治提出、国土交通大臣赤羽一嘉宛「平成 30 年度水管理・国土保全局所管補助事業

完了実績報告書」(令和2年6月26日付河第349号)によると、「平成30年度事業費精算総括表・補償工事費」については、国土交通省決定額が147,000,000円、補償工事の完了実績額は147,853,401円と報告されている。

本件「完了実績報告書」は、西川知事が平成31年2月12日に変更申請して承認された平成30年度変更の「補償工事費147,000千円」が、実際には、ほぼそのまま執行されたことを示している。

即ち、平成30年度の補償工事は「付替町道工事57,853千円」及び「付替水路工事90,000千円」の合計147,853千円であり、架空工事「付替水路工」の「代金」90,000千円は支出されているのである。

平成30年度補償工事費の実績は147,853千円であることが国土交通省への完了実績報告書により判明した。従って、それを平成29年度までの補償工事費累計9,781,514千円に追加した平成30年度までの累計は、9,929,367千円となる。

従って、補償工事総事業費10,072,514千円から上記9,929,367千円を差し引いた143,147千円が、平成31(令和元)年度の補償工事費である。

すると、令和元年度補償工事費143,147千円を財源とする新たな「付替水路工64,000

千円」と「付替町道170,000千円」、合計234,000千円の工事費は、90,853千円の予算不足となる。

つまり、143,147千円－(64,000千円＋170,000千円)である。

先の詐欺的手法で隠蔽した90,000千円の矛盾がここに現れたのである。

補償工事費の財源を欠いて作られた付替町道工170,000千円は、ダム費の流用によって施工したものと推測される。この不正流用もおそらく国土交通省の暗黙の了解のもとに実施されている。

ちなみに、河内川ダム建設工事の共同事業者である小浜市は、平成30年度事業負担金については、下記のとおり支払っている。

全体額

$3,170,000,000 \text{ 円} \times 6.67\% = 211,439,000 \text{ 円}$
(現年支払)

$3,080,000,000 \text{ 円} \times 6.67\% = 205,436,000 \text{ 円}$
(翌年度繰越)

$90,000,000 \text{ 円} \times 6.67\% = 6,003,000 \text{ 円}$

それでは、福井県がペテン師的手法で隠蔽しようとした関西電力発電所補償工事費の「付替水路工90,000千円」は何処へ消えたのか……

(次号へ続く)

単位 = 千円

平成30年度	事業費	29年度金額	29年度累計	30年度決算額	30年度金額	平成30年度 実施内容
平成30年4月2日申請 ~ 平成30年4月17日決定	9991000	675000	9781514	209486	57000	付替町道 57000
平成31年2月12日変更申請 ~ 平成31年2月25日承認	9991000	675000	9781514	209486	147000	付替町道 57000 付替水路工 90000

令和2年6月26日、147,853,401(完了実績報告書)

平成31年3月10日 ★「商費長くし院」の内部告発
 平成31年3月20日 ● 森山元助病死
 平成31年4月7日 ● 西川抗博 落選

平成31年度	事業費	30年度金額	30年度累計	31年度決算額	31年度金額	平成31(令和1)年度 実施内容
平成31年4月1日申請 ~ 平成31年4月26日決定	10072514	57000	9838514	234000	64000	付替水路工 64000
国土交通大臣 石井 啓一 様 河 才419号 令和1年7月25日変更申請 ~ 令和元 年8月26日承認 福井県知事 杉本 達治 公文書が漏つてしまっている	10072514	57000	9838514	234000	234000	付替水路工 64000 付替町道 170000

「福井県と関西電力の伊勢」との資料を総括……付替水路工90,000を隠す
 147,000 9,929,367 144,000 144,000 付替町道工とは、80,000の貯蓄いふ…… (144,000 - 64,000)

平成31年度	事業費	30年度実績	30年度累計	31年度決算額	31年度金額	平成31(令和1)年度 実施内容
国土交通大臣 赤羽一嘉 河 才349号 令和2年6月26日、平成30年度補償事業費精算完了報告書 福井県知事 杉本 達治	10072514	147853	9929367	143147	143147	付替水路工 64,000 付替町道 189,226